

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

コーポレートビジョン

全ての機械に眼を与える（Eyes to the all machines）

② 中長期の経営戦略

1. Deep Tech戦略

SLAM等のAP（人工知覚）アルゴリズムの研究開発に注力。特定企業への依拠を避け独立立場を維持しながら、ソリューション・プロダクト・応用技術の全階層プレーヤーと提携

2. ビジネスモデル拡大

KudanSLAMのアルゴリズムライセンス提供と共に、共同研究開発によるカスタマイズ・新機能追加、技術コンサル等で収益拡大。評価ライセンスから製品ライセンスへと進捗に応じて段階化

3. 顧客製品化とソリューション化

顧客の商用製品への技術組み込みと、ドローン・自動運転・ロボティクス領域の案件拡大。ソリューション化により最終顧客に運用・付加価値サービスを提供

4. 技術融合の推進

半導体や生成AIを含む人工知能との技術融合。公共案件を含むロボティクス・自動運転領域におけるソリューション化で革新性の高い人工知覚技術開発を推進

③ 対処すべき課題

① 開発人材の確保・育成

- ・ 基盤技術・ソフトウェア開発に不可欠な卓越した能力と応用力を持つ人材確保
- ・ 開発パートナーとの共同研究開発と新規採用による人材育成

② グローバル認知度向上

- ・ KudanSLAMの全世界における認知度向上と新規顧客獲得が成長持続に必須
- ・ 北米のセンサー・半導体・先端技術企業とのパートナーシップ拡大
- ・ 中国・日本の通信・自動車・ロボット企業とのパートナーシップ拡大によるグローバル事業開発体制構築

③ 内部管理体制の強化

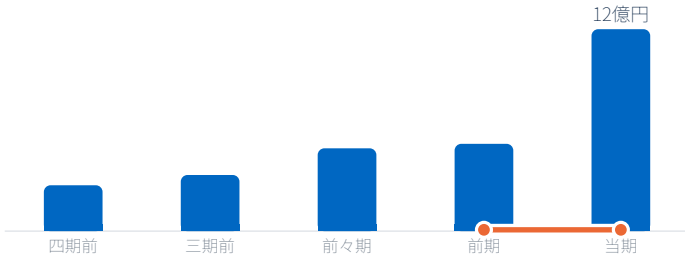
- ・ 2014年11月設立の成長段階企業として遠隔管理体制の強化が重要課題
- ・ 業務適正性・財務報告信頼性・法令遵守の徹底によるガバナンス機能確保
- ・ 急速な事業拡大に対応する内部管理体制の拡充と機能向上

面接で使えるポイント

- ・ KudanSLAMは一般的なソリューション比で最大mm単位の精度を実現し…
- ・ 2021年3月期にミュンヘン工科大学発のArtisense Corporationをグループ化し…
- ・ 2023年3月期にIntel社ロボット開発プラットフォームへ商用SLAM採用を実現した世界初の手大半導体メーカーのプラッ…

証券コード 4425

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
人工知覚（AP）技術を核とするソフトウェアライセンス企業

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
12億円営業利益率
▲49.0%財務健康度
45点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 51.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
935万円

情報・通信業内 45位/592社

平均年齢
37.6歳

情報・通信業内 331位/593社

平均勤続
2.2年

情報・通信業内 577位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: K u d a n (株) 【4425】：決算情報

